

青ネギとモリンガ（ワサビノキ属）を栽培 作業は自ら考え、やってみる NPO法人 姫路みたいファーム（姫路市）



青ネギの出荷作業



モリンガ

経緯

- ・平成28年4月から、施設外就労先の企業である㈱吉田組と業務委託契約を結び、青ネギの出荷や農作業の補助など簡単な作業を利用者3～4人で始める。
- ・4年前からはインド原産で90種類以上の栄養素が含まれ、「スーパーフード」と呼ばれているモリンガ（ワサビノキ属）の栽培を開始。
- ・現在、青ネギの栽培面積は1.3ha。モリンガの栽培面積は80aで約8千株を栽培。

取組内容

- ・現在、利用者の11名が農作業に従事し、施設職員の2名がサポートしている。作業内容は、青ネギはコンプレッサーを使った皮むき作業。モリンガは葉を枝からはぎ取る作業。そのほか、農場での草抜きやトラクターで耕した後の石の除去などの作業。
- ・利用者一人一人の特性を見ながら作業を割り当てている。作業に当たっては、施設職員から細かな工程作業を指示せず、利用者本人が考えてやってみるにより成功体験を積んでいくというスタイル。
- ・屋外での農作業は、開放的でのびのび作業ができるので、利用者の表情は明るく笑顔が多く見られる。また、㈱吉田組や地域の農業者と接する機会も多くあり、外部の人との交流も良い刺激になっている。

今後の展望等

- ・㈱吉田組は緑化推進の方針があり、モリンガは酸素排出量が多くSDGsの取組に繋がると考えているので、モリンガの栽培面積を増やす計画がある。
- ・利用者の作業については、今後、環境を整えて販売部門に従事するなど、現作業のバリエーションを広げられないかと検討中。
- ・現在利用者の1名が㈱吉田組の農業部門に就職できるよう、他の利用者とは別メニューの作業に従事して経験を積んでいる。